

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

A 重油ボイラから木質バイオマスボイラへの
更新プロジェクト

排出削減事業者名：太子食品工業株式会社

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	太子食品工業株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	十和田工場
住所	〒034-0041 青森県十和田市大字相坂字下前川原 25-1
排出削減事業共同実施者	
排出削減事業 共同実施者名	株式会社 F T カーボン
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

A 重油ボイラから木質バイオマスボイラへの更新プロジェクト

2.2 排出削減事業の目的

A 重油ボイラ 6 基を木質バイオマスボイラ 1 基へ更新する。木質バイオマスを使用することによって、CO2 排出量を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO2 を実質的に排出しないものとみなされるため、現在使用している A 重油ボイラを木質バイオマスボイラに更新することで、CO2 排出量を大幅に削減する。なお、A 重油ボイラは、引き続きバイオマスボイラのバックアップ用ボイラとして稼働させる。

2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2009年6月1日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ～ 2017年5月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用しない。

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

バイオマスボイラ及びボイラから蒸気の供給を受ける設備

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由
W _{PJ}	バイオマスボイラ給水量	t	111,138	給水メーターによる計測データ	変更なし
B _{PJ}	ブロー率	%	10	連続ブロー量で調整する管理値	変更なし
H _{steam,PJ}	蒸気の比エンタルピー	GJ/t	2.758 (0.63MPa)	蒸気圧メーターの計測データを用 いて計算	変更なし
H _{water,PJ}	給水の比エンタルピー	GJ/t	0.217(52 度)	温度計の計測データを用いて計算	変更なし
CF _{fuel,BL}	A 重油の単位発熱量あた りの CO2 排出係数	tCO2/ GJ	0.0708	J-クレジット制度のデフォルト値	変更なし
F _{bio-oil,PJ}	廃食油使用量	L	2,742,577	流量計による計測データ	変更なし
HV _{bio-oil,PJ}	廃食油の単位発熱量	GJ/L	0.03621	分析報告書	変更なし
ε _{PJ}	廃食油ボイラ効率	%	90.250 (高位発熱量)	カタログ値	変更なし

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
EM _{PJ}			0.0 (t-CO ₂)

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
111,138 (t)	2.758 (GJ/t)	0.0708 (tCO ₂ /GJ)	
10 (%)	0.217 (GJ/t)		
84.570(%)			
EM _{BL}			21,277.8 (t-CO ₂)

「2008 年度の廃食油の使用量 308,700 (L/年) ≦本実績報告期間の廃食油の使用量 658,218 (L/年換算)」となるため、ベースライン排出量の計算において、バイオマスボイラ導入後の廃食油ボイラの生成熱量の変動は考慮しない。

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	EM _{BL}	21,277.8
事業実施後排出量	(7.1)	EM _{PJ}	0.0
リークージ排出量	(7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量		ER	21,277

7 省エネルギー量

本事業は、再生可能エネルギーを利用するプロジェクトのため、省エネルギー量はない。

8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2013年4月1日 ~ 2017年5月31日)			
	単位	エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kL)
		(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス熱利用量	GJ	338,882 GJ	338,882 GJ	8,743.2 kL